

第 18 回日本独文学会・DAAD 賞選考結果

第 18 回日本独文学会・DAAD 賞が下記のように決定しましたので、お知らせいたします。

日本語研究書部門：

須藤温子：『エリアス・カネッティ——生涯と著作』（月曜社，2019年）

日本語論文部門：

徳永恭子：「移動の文学——ランスマイアーの『スラバヤへの道』に関して」（『ドイツ文学』158号）

ドイツ語研究書部門：

該当なし。

ドイツ語論文部門：

Isamitsu MURAYAMA: Intermediale Wechselwirkung von Text und Bild zur Stilisierung einer idealen Märchenerzählerin. (Fabula. Zeitschrift für Erzählforschung, Bd. 60)

Soichiro ITODA: Nietzsches *Idyllen aus Messina*: Zu einer neuen kritischen Lektüre. In: Ralph Häfner u.a. (Hg.): Nietzsches Literaturen. (Berlin: De Gruyter 2019)

次の方々に選考委員をお願いしました。（敬称略）

日本語部門 委員長：桑原聡

委員：尾張充典、桑川麻里生、田丸理砂（副委員長）、古矢晋一（運営委員・DAAD 推薦）、吉田耕太郎

ドイツ語部門 委員長：高橋義人

委員：武田利勝（運営委員）、細見和之（副委員長）、Thomas Pekar（DAAD 推薦）

日本独文学会
会長 宮田 眞治